

school library

communication

平成31年1月31日(木)

生麦中学校 学校司書

郡戸香澄

新元号が始まる2019年1月1日火曜日、徳島のお寺、曹洞宗「江音寺」のご住職さまが書いた今年の漢字は「響」でした。過疎化が進み、人も少なくなった故郷に若い人たちが音を鳴らしに帰ってきて、元気な声を響き渡らせて欲しいという思いで書いたそうです。郷に音を響かせる。二字にも、一字にも見える漢字を選ぶところは「さすが！」です。2年前、鶴見の総持寺にも来たことがあるご住職さまです。

私の昨年の漢字は、上野の西郷隆盛(西郷どん!)像の所に書いてあった「敬天愛人」から一字選んで「愛」にしました。そして今年の漢字は、あい繋がりでお阿波愛をこめて、阿波藍の「藍」と書きました!今年大学を卒業する娘は「学」と書いていました。「え?もう十分学んだのでは?」と心配になりましたが、「社会人になっても学び続けようとしているのなら安心(o^ー^o)ニコ」と前向きにとらえました。「USA」「数学ができるように勉強頑張ります。」と書いている小学生の姿もあり、可愛くて笑ってしまいそうになりましたが、書いた半紙を手を持つ子どもの顔は真剣そのものだったので、笑うのをこらえるのが大変でした。元旦に筆を持ち、老若男女が集まり書初めをする。新年から心が温くなる良いイベントだなあ〜と、漢字(かんじ)を見て、そう感じ(かんじ)ました。



徳島駅の構内にも、ジャパンプルーと阿波藍の垂れ幕が! (o^ー^o)ニコ
2020年日本で開催されるオリンピックの色にも「藍」
(1964年、日本でオリンピックが開催された年に生まれた私、、、)

そして、実家の色も「藍」 お土産に買ったお菓子も「藍」



徳島新聞の記事にも、鳴門市大麻古神社の「藍」



祖父が導いてくれた楽曲、祖父の生きた故郷徳島での歌唱、全ての事象には意味があり導かれ進むものだと、歌っている楽曲に気づかされます。「**今でもあなたはわたしの光**」**阿波愛**たっぷりで歌う、実家のテレビに映る米津玄師さんのバックの色も「**藍**」(青?)ということで、図書館にある『総合百科事典ポプラディア』で、「**藍**」を調べることにしました。

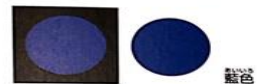


(祖父の船の写真が飾ってあり、毎年NHK紅白歌合戦を楽しみに見ていた祖父の部屋で孫たちはテレビを見ました。)

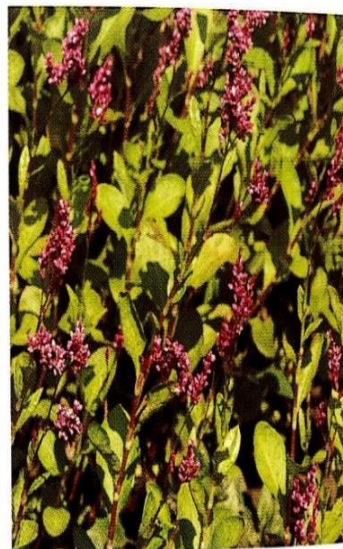
『ポプラディア 総合百科事典 新訂版』 分類番号 031 ポプラ社

アイ [藍] タデ科タデ属の1年草。タデアイともいう。被子植物(双子葉植物)。高さ50~80cm。東南アジア原産で、染料植物

あいろ 藍色 くすんだ濃い青色。藍は、アイの葉からつく世界最古の青色染料で、日本でも古代からつかってきた。藍の濃い青色の主成分をインディゴという。



物として栽培しているが、ときに日本各地の畑や空き地に生えている。日本には、飛鳥時代以前に中国から伝わったといわれる。赤みがかった緑色の葉が、植物染料として藍色の原料になるので、古くから利用してきた。花は主に薄紅色で、穂のような形に咲く。現在は、徳島県などで栽培しているが、合成染料におされてアイの生産量は減っている。藍(青色)の染料としてつかってきた植物の総称としてもつかう。⇒藍染め



アイの花

あいぞめ 藍染め タデ科の1年草であるアイなどをつかって布や糸を染めること。また、その方法で染めたもの。古代エジプトでおこなわれていて、人類最古の染め物とされる。日本へは飛鳥時代以前に中国から伝わり、木綿生産が全国に広まった江戸時代に、本格的に普及した。毎年7月ごろに刈りとったアイの葉を乾燥させ、それに水を加えて、発酵させ「すくも」という染料をつくる。さらに、これをかためたものを藍玉という。すくもや藍玉をかめに入れ、水や石灰を加えて発酵させ、染料に布をひたして染め上げる。布ははじめ黄土色だが、空気にふれると酸化し、青色へとかわっていく。藍染めの特徴は、何度も洗濯をくりかえすうちに酸化が進み、青の美しさがますことである。色の濃さによって紺、はなだ、あさぎ色などの名前がある。ジーンズ(ブルージーンズ)も、インディゴという藍色の染料をつかった藍染めの一種である。

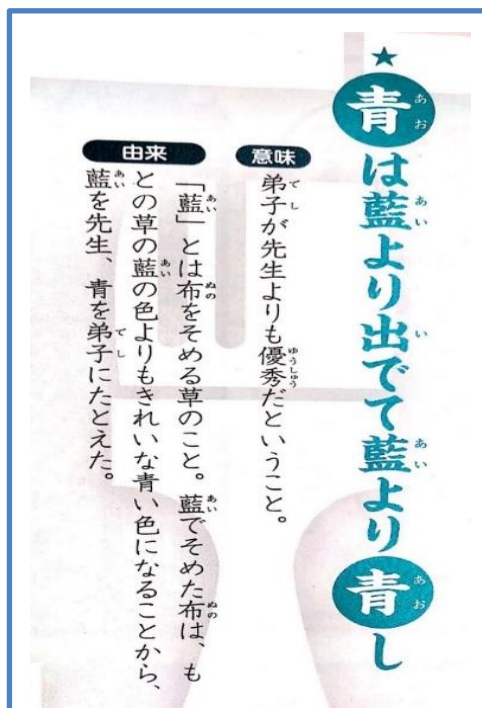


藍染めのようす
阿波藍の製品

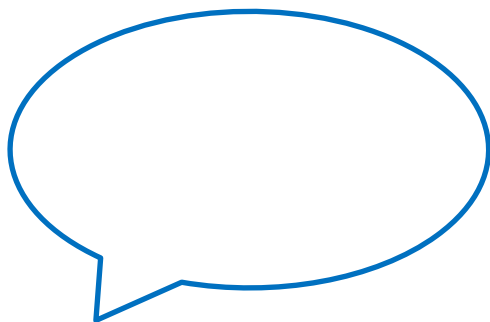
次は、「青は藍より出でて藍より青し」と、「藍」のつく言葉を見つけました。

漢文：「君子曰、學不可以已。青取之於藍、而青於藍、冰水爲之、而寒於水。」

この言葉を残したのは古代中国の「荀子」という人で、人は弱い存在として生まれるが、「学」問を修めることによって善へ向かい、立派な人間になれるという性悪説を唱えた人としても知られています。絶え間なく「学」ぶ姿勢をもたなければ立派な人間にはなれないという「荀子」の教えが「青は藍より出でて藍より青し」という一文にこめられています。「藍」の文字が使われている美しい一文に、出会いました。(×>◡<◉)。♡



『つかってみよう！ことわざ・慣用句・故事成語 365日』 分類番号814 小峰書店



今年の漢字一字は？

昨年の漢字一字は？

新元号が始まる節目になるこの年に、一文字で考えて書いてみてください。

どんな漢字を書きましたか？ 書けた人は、図書館で見せてくださいね！

今回は、今年の漢字一字から調べた本を紹介しました。全校配布しているピンクの用紙では実際の「藍」色がわからないので、校内にカラーで掲示されている「school library communication (学校図書館通信)」や、学校のホームページ

(www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi) で、「藍」色を確認して見てください。もちろん、図書館の本で「藍」色を確認するのもより良いことだと思います。

